

令和6年度 自己評価結果公表シート

I.教育目標

【自ら元気いっぱい活動し合う子を育成する】

具体的な子ども像

【つよい子】【かしこい子】【やさしい子】

II.本年度に重点的に取り組む目標・計画

- ① 教育目標を踏まえ、子どもの実態に合った教育内容を充実させる
- ② 保育の質を高めるため、職員の資質向上を図る
- ③ 保護者支援・子育て支援を充実させる

III.評価項目の達成及び取り組み状況

重点目標	評価項目	評価	取り組み状況
教育目標を踏まえ、子どもの実態に合った教育内容を充実させる	教育・保育内容の見直しを図る	B	・日々の保育(しなくてはいけないこと)が多く、余裕をもって保育を考えて進めていくことができなかった。 ・現場の先生達が、保育内容に関する問題点、改善策等を提案するようになった。 ・ブロック遊びを繰り返し楽しんでいたので、玩具の数を増やした。遊びの幅が広がり、友達と協力して大きい作品を作るようになった。 ・運動会や発表会の内容を見直さないと、練習時間を減らすことは難しいと感じた。 ・リズム体操の研修を行ったことで、年齢に応じた指導が出来たと思う。運動会に向けての練習で生かされた。 ・毎日保育について反省を行い、どのように行動するとスムーズに取り組むことが出来るのかを考えた。 ・子どものためにと思って様々なことを考えるが、否定され続けると意欲がなくなる。もっと現場の意見を聞いて、理解しようと努めてほしい。 ・遊びのブームが見られ、友だちと教えあって遊ぶ姿など増えたように感じる。 ・運動会・発表会の保育の意味はいまだに職員それぞれで理解が異なっているように見えるし、園の方針も見えてこない。 ・保育、行事等、例年に沿った内容で行われていると思う。試行錯誤されているのか、創意工夫しながら取り組んでいるのか、すべてにマンネリ化しているようにみえる。
保育の質を高めるため、職員の資質向上を図る	研修会への積極的な参加と成果の活用	B	・他園に見学に行った職員の報告書を読んだり、自身が受けた低年齢児の研修の学びから、知識を深めることができた。 ・抽象的に受け止めていたことが、研修をうけ、より具体的に理解することができた。自信を持って業務に当たることができると感じた。 ・全学年の先生が集まり、保育や子どもについて話をする機会が以前より減っているように感じる。 ・低年齢児保育のことで、わからないことがまだまだある。 ・研修を受けたことで、保育知識が広がり、実践に繋がったりと保育力を高めることができた。同時に自身への自信にも繋がった。また、子ども達の理解、助言もできる様になり、視野も広がった。 ・平和が丘幼稚園のいいところは、職員間で、年齢・役職に関係なく話せること！これはこのまま維持して欲しい。 ・他園の保育を見に行ったことで、自園の課題に気づくことができたが、どう取り入れていいかわからない。また、違いが大きすぎて不安に思うこともあった。実際に見てみないと気付けないことがあるので、ぜひ行って欲しい。 ・今年は、職員が研修を受ける機会も多かったし、他園見学や視察の機会もあった。事後報告、情報の共有が充実しており、職員全体の資質向上に繋がったと思う。

			・リズム体操は、一年を通して継続的にしっかりと行うことで、心身の発達に役立つことが期待されるのではないかと。また、未就児の戸外活動を行うための安全な場所の確保が、早急な課題と感じる。
保護者支援・子育て支援を充実させる	すくすくくらのあり方を見直す	D	・すくすくくらのあり方を見直そうと考慮したが、大きな変化は見られなかった。 ・すくすくの参加人数は、以前と変わらない。園に興味のある人も増えていない。他の園のやり方を知りたい。 ・「園給食を食べる」という内容は、園生活のことが知れて、良いと思う。 ・すくすく専属の職員がいれば、すくすくのことを広く深く考え、未就児や保護者の把握・関わりも密にできるのではないかと。 ・土曜日の参加人数に対する職員の人数が合っていないように感じる。他の園の子育て支援の雰囲気と比較し、何が過剰で何が不足しているのかという事も、リサーチする必要があるのではないかと。 ・ほとんど毎年同じ内容。他園は、お母さんたちが交流できる場としていること。 ・参加人数は増えなかった。他園の活動内容を学んだりして、もっと参加したいと思ってもらえる内容に変えていった方がいいと思う。 ・少人数だと参加しにくい雰囲気もあると思うので、日常の保育に参加し、在園児との交流を主にし、体験していく活動はどうでしょうか。若い世代の親の興味のある活動・交流等、情報収集も必要だと思います。 ・すくすくくらぶに来てくれる未就児と保護者両方に向けてのイベントを考える。入園に繋がらなくてもいいので、「平和が丘幼稚園に遊びに行くのが楽しい。」という言葉が聞けるようなイベントを開催したい。ホームページにはイベントをよくアップしているが、もう少し見やすいホームページに変更したい。

IV.総合的な評価結果

評価	理由
C	重点目標①②については、各教職員自らが、評価項目について積極的に取り組む姿があった。職員の日々の取り組みが定着したことで、職員・子どもの姿に変容が見られ、目標達成へ近付けた。 重点目標③については、各教職員のすくすくくらぶへの意識が低く、取組・成果共に結果が残せなかった。

III.IV.の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	あまり達成されなかった
D	ほとんど達成されなかった

VI.学校関係者評価委員の評価

◎自己評価結果の内容は、妥当であると認められる

「R6 自己評価結果の総括表」、「全方位的な自己点検表」及び「保護者アンケート結果」それぞれについてマイナス評価もあるが、総合的には目標(P)―方策・実践(D)―評価・反省(S)されており、結果の内容は妥当と言える。

今後は、明らかになった課題や改善点を明確にし、改善策(A)を講じて次年度の経営に取り組んでいただきたい。